

よくある質問～進路先決定に向けて

公立高校の選抜制度や私立高校の入試の仕組みなどについて、毎年よくある質問をまとめてみましたので、是非お読みください。他府県ご出身の保護者の皆様も、京都の入試について、理解を深めていただきたいと思います。

Q1 今の自分の実力で受かる高校を教えてください。

もしどうしてもということなら伝えることも可能です。高校進学については合格の可能性はあるかないかという基準で選択することも、場合によって必要になりますが、まず「高校で何をしたいか・どんな勉強をしたいか」「どんな高校生活を送りたいか」「自分が頑張ってみようということを支援してくれる学校なのか」などを考えてほしいと思います。いずれにして、たった一度の高校生活が自分にとって充実したものになるようよくよく考えてみてください。よく分からないことがあれば、担任の先生か進路担当を頼ってみてください。

Q2 特に行きたい高校がありません。何を基準に高校選びをすればいいですか。

まずは、近隣の高校の学校説明会に行ってみてそれを見つけることも必要でしょう。長三中のホームページにある進路情報から高等学校の情報を得るのも、高校選択の最初のステップになると思います。多くの情報に触れてみて、そこから自分の基準を見つけていくこともあってよいと思います。

Q3 公立の前期を受けても中期もう1回受検できますか？

A 前期選抜を実施する高校・学科の中には、前期選抜だけの学校・学科と前期選抜で残念な結果になっても中期選抜で再チャレンジできる学校・学科があります。前者は、「その他の専門学科」と呼ばれる学科です。後者は、普通科及び職業に関する学科です。

Q4 公立高校の中期選抜の第1希望の第1順位と第2順位とは、同じ高校の別の学科を記入するという意味ですか？

A 第1順位と第2順位は、違う高校でも良いですし、同じ高校の別の学科でも良いです。例えば、第1順位に 桂高校普通科 第2順位に 桂高校園芸ビジネス科と記入するのは可能です。但し、第1順位が全日制で第2順位が定時制で、という希望の仕方はできません。

Q5 受験の会場は、どこですか？

A 自分が受検する（受験する）高等学校です。公立高校中期選抜の場合は、第1志望第1順位の高校です。

Q6 公立前期選抜の問題は、どんな問題が出ますか。

A 前期選抜の問題は、記述式が多いのが特徴です。また、各校が作成する「独自の学力検査問題」を出題する高校と「共通学力検査問題」を出題する高校があります。これは、後日みなさんに配布する「前期選抜等実施要項」に詳しく書かれていますので参考にしてください。

Q7 後期選抜は、どの高校でもあるんですか。

A 後期選抜の実施高校については、中期選抜の合格発表と同時に、高校名と学科名・募

集定員が発表されますので、現段階では、どの高校のどの学科で実施されるのかは分かりません。今の段階では、後期選抜を当てにしないでください。参考までに、例年、中期選抜で定員割れになった高校の中の一部の高校で実施されています。

Q8 前期選抜の嵯峨野高校の京都こすもす科が残念な結果になった場合、中期選抜で嵯峨野高校の普通科を受検することは可能ですか。

A もちろん可能です。普通科と「職業に関する専門学科」は、前期と中期の2度の選抜があります。前期で「その他の専門学科」を受検して不合格の場合でも、資格はあります。

Q9 前期選抜のB方式って作文と面接だけで受かりますか？

A これはどういう意図の質問なのか、直接本人に尋ねないと分かりませんが、事実のみを記します。公立高校で実施される前期B方式の受検は、以下の内容で合否を決定します。

- ①報告書（3年間の9教科評定合計）135点満点
- ②当日に実施される面接・作文及び願書とともに提出する部活動などの活動実績報告書
…これも点数化されています。

また、高校によっては指定種目（指定スポーツなど）が決まっている場合があります。指定種目以外の部活動に実績があっても、受検しても合格の可能性はありません。これも、後日みなさんに配布する「前期選抜等実施要項」に詳しく書かれていますので、読んでください。

Q10 公立高校は、クラブ推薦がもらえたら入学は確実ですか。

A 誤解をしないでほしいのは、現在の京都の公立高校受検で、「クラブ推薦」という制度は存在しません。前期選抜におけるA2方式・B方式では、「実績報告書」が、C方式（スポーツ総合専攻）では「実績報告書（運動実績の記録）」が、点数化され、合否の判定対象になるという考え方であって、一般的に言われる「クラブ推薦」とは全く異なるものです。ただ、高等学校の部活動顧問の先生方から、是非うちの学校に進学して、入部してほしいというお話を受ける場合があります。しかし、そういったお話がある場合でも、それが合格を確約するものではありません。

Q11 私立高校の併願受験をするとき、何校まで受けられますか？また受けた方がいいですか？

A 私立高校が併願ということは、公立高校が第一希望ですね。進路学習の中であったように公立高校は、単独選抜ですので、私立高校の併願受験をお勧めします。但し、その併願校に進学したいという気持ちが持てる学校をきちんと選びましょう。また、京都府に住んでいるみなさんの受験可能な併願校として、京都大阪兵庫の私立高校は、日程が統一されています。他県については、日程が異なります。従って、例えば、滋賀県私立→奈良県私立→京都私立→京都私立（後期日程）と最大4校受験が可能です。でも、これは可能であって、実際にこれだけ受験するとお金もかかりますし、体力気力も大変です。慎重に考えてください。

Q12 併願受験で、点数によって定員以上で合格させることもあるってことですか？

A その通りです。併願受験ということは、他の高校が第一希望であるということですから、私立高校の側も、併願合格したからといって全員が入学することはないと考えておられます。でも、もし我が高校に入学した場合、教育方針に沿って3年間学習できるという可能性があるから合格させるのだと思います。

Q13 私立高校の受験日が他の学校と違う日にある高校を知りたいです。

A 今年度は、2月10日が統一日になっています。質問してくれている「違う日」とは、

11日、12日です。高校によってB日程とか後期日程という呼び方をしています。実施校は、大谷、京都外大西、京都先端科学大学附属、京都光華、京都廣学館、京都女子、京都精華、京都聖母学院、ノートルダム女学院、京都橘、京都西山、京都明德、京都両洋、京都文教、花園、東山、立命館、立命館宇治、以上です。但し、この別日程では、受験型(例えば併願のみ)に限られている場合がありますので注意してください。

また、PCやスマートフォンで、「京都府私立中学校高等学校連合会」のHPを見ると、「入試情報」→「入学試験実施一覧」で閲覧可能です。印刷することもできます。

Q14 英検に受かっておくとか何か良いことがありますか。

A もちろん、英検に合格するための学習をすることによって、英語の学力が向上することでしょう。受験に関しては、私立高校の中には、可否の判定に活用する高校があります。増えてきています。また、入試得点や内申評定に加算をします。詳しくは、希望する私立高校のHPを通して、募集要項(入試要項)を読むか、学校説明会等で説明を聞いてください。

Q15 受検の際、内申点の関係のない高校はありますか。

A ごく一部の私立高校では、説明会等でそのように答えられている学校もあるようです。

Q16 私立第1希望で、公立第2希望ってできるんですか。

A もちろんできます。ただ、公立高校を受検して合格すると、必ずその公立高校に進学するのが条件です。本校の卒業生でよくある例は、私立高校が第1希望で、日程の関係で、公立前期選抜の願書もほぼ同時に提出するのですが、私立高校の合格発表が前期選抜の前に行われるので、第1希望の私立高校が合格した段階で、前期選抜受検予定の公立高校に「受検辞退届」を提出することになります。

Q17 私立高校の推薦受験と専願受験の違いを教えてください。

A まず両方に共通しているのは、推薦・専願とも受験して合格すれば、必ずその高校に入学するということです。つまり第1希望であるということです。また、推薦と専願の違いは、推薦受験の方が、合格の可能性が高いということです。推薦受験には、大きく分けて学業による推薦と部活動(特技・特色と呼ぶ高校もあります)による推薦があります。高校側が提示する条件を満たしているということです。しかし、高校側の条件を満たしているだけでは、推薦の条件は充分ではありません。中学校長の推薦が必要になります。しがたって、本校でも校長先生が推薦するかどうかの判定をします。ですので、過去にもあった例ですが、「高校から推薦もらっているから、勉強しなくていい」と言って、いい加減な学校生活や授業態度になりそうな人がいました。しかし、よく考えると、校長先生が推薦するということは、他の生徒の手本となる生徒なんだと認定されることでもあるのです。推薦という受験区分で入試を受ける人は、三中生の代表なんだという自覚をもって、卒業までしっかりと学校生活を送ってほしいと思います。

Q18 花園高校は、「特進Aコース」「特進Bコース」「進学加タイプコース」がありますが、僕は、「特進Aコース」を受験しようと思っています。親に聞くと、もし「特進Aコース」の合格基準に到達していなくても、「特進Bコース」の合格基準に到達していれば、「特進Bコース」に合格できる、ということだそうですが、本当にそうですか。

A その通りです。私立高校が設置している学科の多くは、普通科です。そして、この普通科の中に、いくつかのコースを設けています。この質問にあるようなしくみを「転コース合格」とか「まわし合格」と呼んでいます。複数のコースがある高校では、その多くで「まわし合格」を実施しています。注意してほしいのは、この「まわし合格」を実施していない場合もありますので、注意が必要です。また、例えば「特進Aコース」は専願だが、「特進Bコース」は併願受験したいという場合、「特進Aコース」も「特進Bコ

ース」も専願受験という2つの受験パターンがあります。但し、高校によってすべて同じ受験パターンがあるとは限りませんので、詳しくは、私立高校のホームページやパンフレットに挟み込まれている「募集要項」「入試要項」を読む必要があります。私立高校を専願または併願で受験することを考えている人は、充分注意してください。

Q19 全日制より定時制や通信制の方が良いかなと持っていますが、どこが違いますか？

A 全日制は学校生活の時間帯としては、中学校とほぼ同じです。多くの高校が「学年制」ですので、(一部は単位制)高校1年で履修すべき科目が高校側が求める基準成績をクリアし、出席状況も問題なければ、次の学年に進級することができます。

定時制は、基本的に「学年制」ではなく「単位制」です。次の学年に進級するという考えではなく、4年かけて必要な単位を修得します。京都では、現在公立高校のみに設置されています。京都奏和・清明の2校は、昼間定時制で、午前あるいは午後に授業が行われる場合が多いです。全日制のように一日の生活とはならないので、4年で卒業する場合があります。夜間定時制は、近辺では朱雀・鳥羽・桃山の各高校に設置され、始業が夕方からですが、昼間定時制同様4年で卒業できる教育課程になっています。

通信制は、現在全国的に毎年進学する生徒が増えています。京都の公立では、朱雀高校のみに設置されていますが、私立通信制は、京都の本校を置いている学校、他県に本校があり、京都にキャンパスを置いている学校などがあります。通学型、インターネット型など大変多くの学び方が設定されています。それぞれに特徴があるので、自分にとってどれが良いのかを考えてみる必要があると思います。全日制・定時制・通信制、いずれも卒業すれば、高校卒業資格が得られます。大学進学や就職など、本当にそれぞれなので、高校卒業後の進路先が気になる人は、説明会等で尋ねてみてください。

Q20 現在自分の力が、志望している高校に届いていないと言われていました。替え方が良いですか。

A これは、この時期によくある質問です。人によって事情は異なると思いますが、まず自分が志望している高校にどういう理由で進学を希望しているのかが重要です。もし、その理由にやっぱりこだわりたいと思うなら、最後まで希望を貫いた方が良いと思います。但し、その場合には、合格可能性が高かつ進学したいと思える第2希望校をしっかりと決めておくことが必要です。最初に書いたように人によって事情が異なると思われるので、担任の先生か進路担当に相談してください。

Q21 以前受けた模擬試験の結果で、私立高校だったらA高校とB高校が相応しいって書いてあったのですが、この2つの高校について何も知らないのを教えてください。

A いきなり知らない高校を紹介されても困りますね。あなたの質問に答えるには、やはりあなた自身がA高校とB高校のオープンキャンパス等に足を運ぶしかないと思います。実際に見て、聞いて、納得できる結論を導き出してください。

前期選抜の受検を考えている人は、後日「前期選抜等実施要項」が配布されます。しっかり読んでおいてください。

保護者のみなさんも、お気軽に進路担当までご相談ください。

